

# Advance

～精神科薬剤師の明るい未来を目指して～

発行:PCP研究会広報委員会

## 巻頭言

平成20年度より、いよいよ精神科薬物療法認定薬剤師及び精神科専門薬剤師の一般認定がスタートしました。精神科専門薬剤師の認定を受けるためには、制度上、先ず精神科薬物療法認定薬剤師の認定を受けなければならないことから、PCP研究会の会員の多くが精神科薬物療法認定薬剤師の認定を目指していると思います。精神科薬物療法認定薬剤師の認定のためには、40時間(20単位)以上の講習会の受講、50症例以上の薬剤管理指導サマリーの提出、認定試験での合格等様々な規定を乗り越えなくてはなりません。日本病院薬剤師会では7月20日、21日に精神科薬物療法認定薬剤師のための講習会を開催し、本講習にて14時間の講習時間認定を行いました。しかし、これだけでは勿論講習時間は足りませんので、残りの26時間をクリアすることが大きなポイントとなります。また、日本病院薬剤師会では、精神科領域の専門学会との共催によるセミナー、日本医療薬学会や日本病院薬剤師会学術大会等における精神科領域のセミナーやシンポジウム等の開催を計画しています。しかし、全国の会員にある程度公平に講習会の受講を可能とするため、各都道府県病薬が開催する、若しくは共催する講習会を時間認定することになりました。このような状況の中、PCP研究会の会員の多くから、PCP研究会が開催する講習会は認定時間に認めもらうことはできないかとの要望が多く寄せられています。今後、PCP研究会による講習会が各都道府県病薬と共催されることになれば、現在、全国で開催しているPCP研究会の講習会に参加することで、講習時間をクリアすることができるかもしれません。

PCP研究会は、本来、専門薬剤師を目指すためのものではありませんが、PCP研究会の会員の多くが、将来、精神科薬物療法認定薬剤師や精神科専門薬剤師となる可能性は大変高いと思います。これまで開催してきたPCP研究会による講習会では、“精神科薬物治療ができる薬剤師”を目指してきました。本講習会を受講していることで十分、精神科薬物療法認定薬剤師としての知識と技術を修得できていると信じており、サマリーの作成や認定試験は無理なくクリアできると思います。PCP研究会に参加することで、精神科薬物療法認定薬剤師の認定には十分役立つものと確信しております。前にも述べましたが、本認定はあくまでも通過点であり、今後精神科領域における薬剤師の活動が、精神科薬物治療の適正化に寄与することが国民に理解され、その上で期待される存在になりましょう!

吉尾 隆

## ブロック講演会レポート(東京会場)

9月7日に行われた東京会場の講演会で、新たな試みとして「服薬指導のロールプレイ」を行いました。当研究会の学術研修委員で、今回の発案者でもある私としては、なんとかこの企画を成功させて、全国展開していきたいと思いながら事前の準備、当日の司会へと進めていきました。ロールプレイを引き受けてくださった桜ヶ丘記念病院の佐藤先生、遠藤先生の演技がよかったのか、はたまた司会者の腕がよかったのか、新たな試みは参加していただいた先生方には好評でした。他の施設または薬剤師さんは、どのように服薬指導をしているのだろうか?という素朴な疑問にお答えできる内容であると思います。全国の先生方!次はあなたの施設にロールプレイの依頼がいくかもしれません!(井出光吉)



## 2008年度上期活動状況

ブロック	北海道		東北		関東・甲信越	
開催地	札幌	盛岡	仙台	東京	大宮	
開催日	6月15日	6月15日	6月1日	9月7日	9月28日	
特別講演	札幌医科大学 三浦 哲嗣	岩手医科大学 金子 能人	光ヶ丘保養園 新階 敏恭	東京慈恵会医科大学 宇都宮 一典	埼玉医科大学 栗原 進	
症例検討	札幌医科大学 三浦 哲嗣	岩手医科大学 金子 能人	光ヶ丘保養園 新階 敏恭	桜ヶ丘記念病院 石田 琢人	埼玉医科大学 栗原 進	
	平松記念病院 矢萩 英一					
活動紹介	さっぽろ香雪病院 西部 浩	菅原病院 大城 布美子	青南病院 黒沢 雅広	桜ヶ丘記念病院 遠藤 洋・佐藤 康一	南浜病院 田中 光生	
参加人数	47	31	31	70	46	

ブロック	関東・甲信越	東海	北陸	近畿	
開催地	千葉	名古屋	金沢	大阪①	大阪②
開催日	6月8日	7月13日	7月27日	6月15日	8月3日
特別講演	東邦大学医療センター佐倉病院 宮下 洋	共和病院 草加 耕司	みどりヶ丘病院 青柳 直樹	大阪大学大学院 船橋 徹	大阪大学大学院 船橋 徹
症例検討	東邦大学医療センター佐倉病院 小山 朝一	共和病院 草加 耕司	松原病院 中本 理和	かつもとメンタルクリニック 勝元 榮一	かつもとメンタルクリニック 勝元 榮一
		共和病院 齋藤 玲子			
活動紹介	袖ヶ浦さつき台病院 古山 光	一ノ草病院 濱田 裕之	松原病院 今越 照美	宇治黄檗病院 三浦 彰久	宇治黄檗病院 三浦 彰久
参加人数	26	45	42	67	66

ブロック	中国・四国			九州	
開催地	広島	松山	福岡	鹿児島	沖縄
開催日	7月13日	6月1日	7月27日	7月6日	9月7日
特別講演	吉南病院 長嶺 敬彦	細木ユニティー病院 松田 幸彦	福岡市医師会成人病センター 梅田 文夫	今村病院分院 鎌田 哲郎	糸満晴明病院 高橋 正明
症例検討	草津病院 中村 優	細木ユニティー病院 松田 幸彦	鮫島病院 鮫島 隆晃	若草病院 白土 俊明	新垣病院 大田 郁也
活動紹介	林道倫精神神経科病院 深井 利光	宇和島病院 鎌田 真由美	肥前精神医療センター 仲田 浩成	みなと病院 田邊 喜章	糸満晴明病院 境 健司
参加人数	40	31	48	30	28

## 新幹事紹介

### 【九州ブロック】

医療法人 社団翠会 八幡厚生病院 柴田木綿(福岡県)

私にとってPCP研究会は、他の施設の先生方と一緒に症例を検討し意見を交わすことにより、様々な「気づき」ができる研究会です。また、処方調査に参加できたことにより、その結果を院内にフィードバックして、医師や看護師と薬物療法に関する対話をしていくきっかけを作れたことも大きかったと思います。本研究会に参加して、いろいろ勉強をさせていただいておりましたが、今回思いがけず九州ブロックの幹事のお話を頂きました。微力ですが、私にできることを精一杯やっていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



## 精神科専門薬剤師として・・・

日本病院薬剤師会は、昨年度「精神科専門薬剤師」の過渡的認定を実施し、本年度からは「精神科薬物療法認定薬剤師」および「精神科専門薬剤師」の一般認定を開始します。これらの認定を受けることをひとつの目標として、精神科病院に勤務されて日々の業務に励み、そして自己研鑽に努められている方も多いのではないかと思います。

私ごとで恐縮ですが、私は過渡的措置による「精神科専門薬剤師」の認定を受けることができました。しかし、その喜びもつかの間のことで、現在は専門薬剤師としての重責に押しつぶされそうになっています。カンファレンスに参加したり、院内での勉強会を実施したりすると『精神科専門薬剤師って何？何ができる人？』と、他のスタッフから質問を受けます。そのたびに「チーム医療に参加して・・・処方設計に参加して・・・」と答えているのですが、それを形として示せるだけの十分な力がまだ私にはありません。お題目を唱えることは出来ても、実際に他の医療スタッフから「さすが専門薬剤師！」と言ってもらえる形が、具体的にどのようなものなのか？私にはまだ十分に掴めていません。その迷いの中でも、やはり「精神科専門薬剤師」は薬剤師以外の医療スタッフに認められてこそ、真の存在価値があるのだと思っています。そのためには、自己満足するのではなく、きちんとした目的を持ち、「他の医療スタッフに精神科専門薬剤師としての実績を形で示すこと」が必要なのです。幸い、私は、本年9月1日よりスーパー救急病棟専門病院（50床）に転勤となり、精神科救急に専念することができるようになりました。これを機会に「精神科救急病棟における精神科専門薬剤師の役割」をテーマとし、他の医療スタッフにアピール出来るような実績をつくり上げていきたいと考えています。

本年度は、より多くの「精神科薬物療法認定薬剤師」および「精神科専門薬剤師」が誕生し、仲間が増えることを期待しております。しかし皆さん、その後に待っているのは、ゴールではなく、より高いハードルであることを覚悟しておいてください。「認定や専門薬剤師」は、あなた方に何か新たな力を与えてくれるわけではありません。より厳しい評価が求められる専門医療職としてのスタートラインに立つための「心構え」を示しているだけなのです。（天正雅美）



## 2008年共同研究(全国処方調査)参加施設募集!

統合失調症に対する日本の処方実態・動向を把握することを目的に、PCP研究会では毎年処方調査を行っています。昨年は100施設にご参加いただき、16,153例のデータを集めることができました。これほどのスケールでの処方調査は他に例がなく、毎回発表を行っている日本精神神経学会では、参加されている医師からも高い評価を受けています。また、処方調査を機に薬物療法の適正化(低用量化・単剤化)に向け、処方の見直しを行う施設もみられています。

来る10/31(金)、本年も引き続き全国処方調査を実施いたします。昨年を上回るデータを収集し、より詳細な実態把握を目指していますので、皆様のご協力をお願いいたします。(PCP研究会調査委員会:宇野準二)

## その他共同研究の公募について

PCP研究会では、会員の皆様方への大きな架け橋をつくるために、新しい試みを模索しています。精神科薬剤師の出来る事の一つに「研究」があると思います。しかし、「なかなかデータが集まらないし・・・」、「人手がないから誰か手伝ってくれないかなあ～」などとお悩みの会員さんも少なくないはずです。専門薬剤師を取得するには筆頭論文を書く必要がありますね。

そこで、PCP研究会では共同研究参加への呼びかけを、当研究会のホームページを通じて可能にする試みを検討しております。今後どのような形になるか分かりませんが、その詳細が決まり次第ホームページにアップいたしますのでご期待下さい。(PCP研究会広報委員会:宮本直治)

## 2008年度下期ブロック講演会開催案内

ブロック	場 所	開 催 日	会 場
北海道	札 幌	11月30日(日)	北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス
東 北	盛 岡	11月16日(日)	マリオス盛岡
	仙 台	11月30日(日)	フォレスト仙台
関東甲信越	東 京	3月15日(日)	飯田橋レインボービル 7階大会議室
	大 宮	3月 8日(日)	ソニックシティ 602会議室
	千 葉	2月15日(日)	大塚製薬千葉支店
東 海	名古屋	3月 8日(日)	名古屋ルーセントタワー 16階会議室 F+G
北 陸	金 沢	3月15日(日)	石川県地場産業振興センター 本館 第1研修室
近 畿	大 阪	2月 1日(日)	梅田スカイビル
	京 都	2月15日(日)	メルパルク京都
中四国	広 島	12月14日(日)	ホテルチューリッヒ 東方2001
	高 松	2月15日(日)	アルファあなぶきホール(香川県県民ホール)
九 州	福 岡	2月 1日(日)	大塚製薬福岡支店
	鹿児島	11月30日(日)	鹿児島県医師会館
	沖 縄	3月 8日(日)	沖縄県男女共同参画センター ているる

## お勧め書籍紹介

## 「チームで変える！第二世代抗精神病薬による統合失調症治療」



総編集：石郷岡 純、編集：池淵恵美／吉尾 隆／吉浜文洋、出版社：中山書店(ISBN:4-521-67561-1)

発行：2006年8月、サイズ：B5版 約360頁、定 価：5,040円(本体4,800円+税)

私の職場は専門病院ではないため、薬剤部には精神科関連の本はほとんどありません。そのため、読みたい本は精神科の医局に行って借りていますが、自分でも統合失調症について基本から勉強できる本を手元にといい、職場の前にある本屋で自分に合う本を探しました。その中で本書は、薬物治療の基本的な知識から、薬剤の選択や変更についての考え方や用量の決め方、多剤大量療法からの具体的なスイッチングの手法まで、根拠となる文献を示しながら分かりやすく解説されており、知識を深めるのに役立ちそうな印象でした。しかし裏表紙を見たらなんと4,800円！！一瞬買うのをやめようかと思いましたが、今では思い切って買って良かった本のひとつです。(北川航平)

## 2008年度会費(2008年4月～2009年3月分)納入のお願い

本年度の会費納入がまだの方は早めに振込をお願いいたします(なるべく会場での支払いはご遠慮願います)。

【郵便局】口座名：精神科臨床薬学研究会  
口座番号：00170-2-578959

※通信欄に、必ず施設名、会員名と会員番号を記入してください

(会員番号は、Newsletterの封筒の宛名シールに記載されています。)

※会費の重複払いが増えていきます。ご不明な場合は事務局にメールにてお問い合わせください。

## 講演DVD「糖尿病・メタボリックシンドローム」貸出について

2008年上期講演会を欠席された皆様にDVDを貸出いたします。希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバーの貸出も受け付けております。

【事務局連絡先】※HPのURL、連絡先のメールアドレスが変更になりました。

E-mail: contact@pcp-rg.org

(メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)

URL: www.pcp-rg.org Fax: 03-6717-1484

## 【編集後記】

認定・専門薬剤師制度がスタートし、精神領域でも全国各地で活発な研修会などの開催が計画されているようです。当PCP研究会は皆様のニーズに柔軟に応えると共に、時代の流行に乗り遅れないよう、これからも全速力で航行してまいります！堂々たる専門薬剤師を目指せ!!(MK)

